

☆ ボランティアさんの一言 ☆

春の代表的な「春の大曲線」がよく見えるようになってきました。

曲線の先にあるスピカは、おとめ座の一等星です。占いに出てくる黄道12星座の内の1つですが、当てはめられている誕生日と、星座が現れる時期が違うのはなぜでしょう？

そんな些細な事にも丁寧に答えてくれる、天文台です。

(星見る熊より)

開館時間：15：00～21：30

☆ 5月の見頃の時間は19：30ごろです ☆

↓ 当日の天候はWeb、またはFacebook・Twitterにて ↓



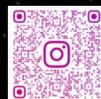
Web



Facebook



Twitter



Instagram

#くらぶちこども天文台



くらぶちこども天文台
KURABUCHI KODOMO OBSERVATORY

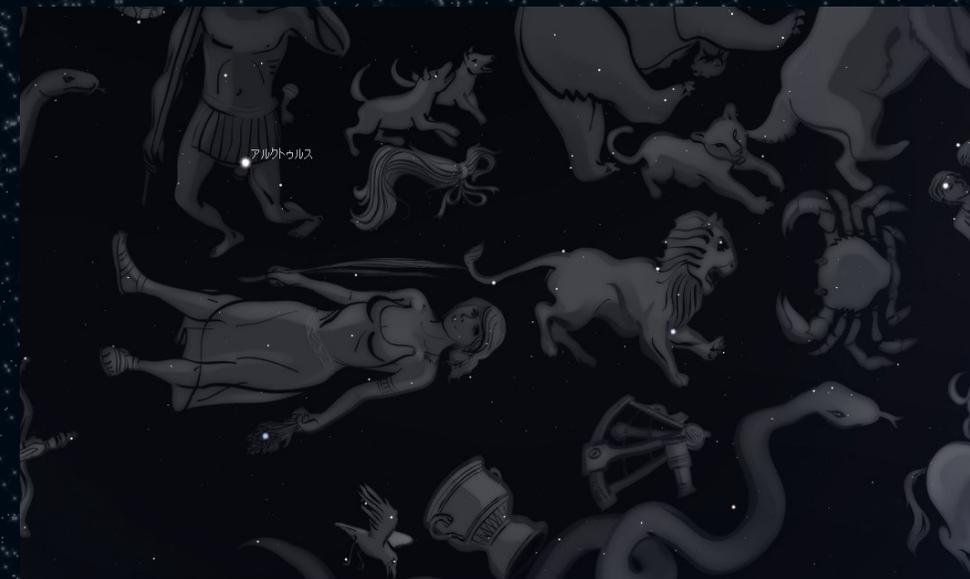
〒370-3403 群馬県高崎市倉淵町水沼2930番 TEL：027-386-6837

※ お天気などご不安な点ありましたらお気軽にお電話ください ※

くらぶちこども天文台

2021★5月の星空

初夏の風がそろそろ吹く季節でしょうか。春の星座も天頂（空の真上）に高く昇り、しし座などはそろそろ来年にむけての旅へ出発です。また、星座の大きさランキング1位のうみへび座、2位のおとめ座、3位のおおぐま座が一度に観れる時期でもあります。うことは小さなランキングもあるはず……さあ、今月も星空の旅に出かけましょう！



今月の星座

北

西



東

南

誕生星座は、【しし座】【おとめ座】が見頃になります。【おとめ座】は大きいので、その次の【てんびん座】を観測するのは来月がよさそうです。

『北斗七星』の柄から伸ばす『春の大曲線』や、【しし座】の『デネボラ』『アルクトゥールス』『スピカ』で結ぶ『春の大三角』が高い位置に昇るのでさらに見やすく、探しやすくなるはずですよ。

星空トピックス『望遠鏡のしくみ②』

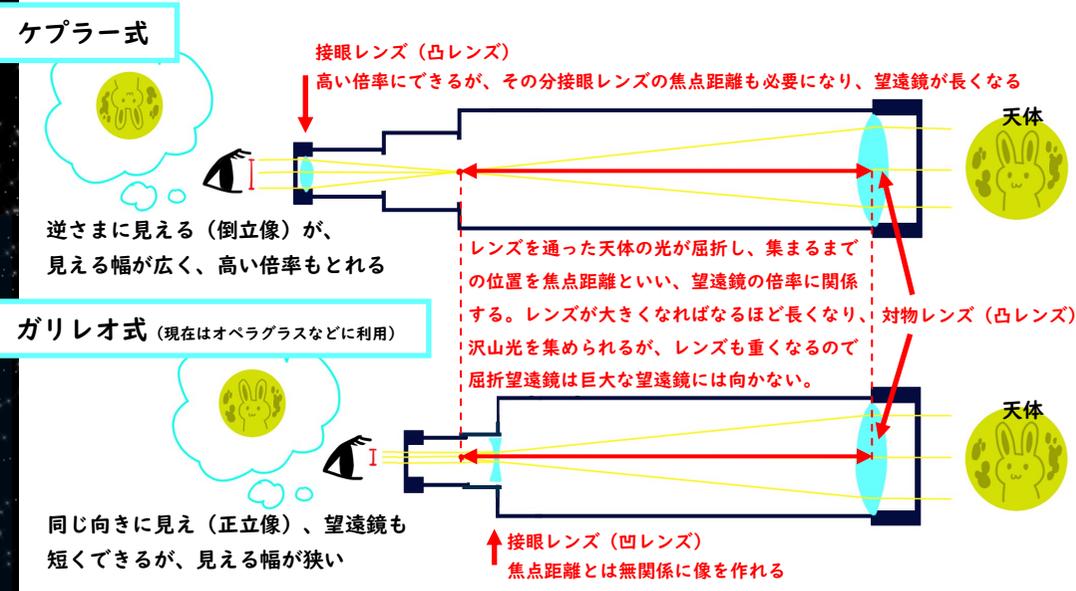
宇宙の世界を近くで観てくれる望遠鏡。4月から数回に分けて、望遠鏡のしくみについて解説しています！今月は屈折望遠鏡について！

◇ 屈折望遠鏡

最も一般的な望遠鏡のひとつです。最古の望遠鏡も、1608年に眼鏡用のレンズを使ってオランダの眼鏡職人ハンス・リッペルハイが発明したといわれています。また、世界で最初に望遠鏡を使って天体観測したのはガリレオ・ガリレイで、1609年に凸レンズと凹レンズを組み合わせて作った自作ものでした。遠くのを拡大して見る、というレンズのしくみはそのまま天体観測の応用にも使われたのですね！

● 屈折望遠鏡のしくみ

長い筒の両端にレンズを取り付けて遠くの星を拡大します。レンズは凸レンズを2枚組み合わせるケプラー式と呼ばれるものと、凸レンズと凹レンズを組み合わせるガリレオ式があり、それぞれ見え方に特徴があります。現在は倍率を上げやすく、視野も広いケプラー式がほとんどです。



Stellarium 0.19.0 / <https://stellarium.org/ja/>より